

保険医協会FAX情報

発行：鳥取県保険医協会 No.18
〒683-0853 米子市両三柳 877-1
電話 0859-24-3063 FAX 0859-24-3066

ご存知ですか？

マイナンバーカードの保険証利用

ー 医療機関での顔認証カードリーダー導入は慎重に！ー

マイナンバーカードの保険証利用が3月下旬より本格稼働される予定です。支払基金も今月末までは補助上限額まで全額補助されるとの触れ込みで、「顔認証付きカードリーダー（以下カードリーダー）」の案内を行っています。会員の先生方からは「導入は義務なのか」「導入しないことでペナルティや周囲から取り残されないか不安」などの声が寄せられています。

国はオンライン資格確認のメリットとして、期限切れ等の資格喪失保険証使用の防止、特定健診・薬剤情報が閲覧できること等を挙げています。しかし一方で、番号の漏洩・カードの紛失といった個人情報漏洩の危険性、カードリーダーを設置した後の維持費の負担、電子機器の使用に不慣れた患者さんへの窓口対応業務の多忙化等の問題点・デメリットもあり、慎重な検討をする必要があります。

◆マイナンバーカードの保険証利用は義務ではありません

「カードリーダー」設置の医療機関でも、これまで通り保険証で受診ができます。マイナンバーカードを使用するかどうかは、患者さんの任意です。2月12日に行われた厚生労働省の社会保障審議会医療保険部会でも、健康保険組合連合会副会長が政府に対して、国民に誤解を与えないよう「保険証でも受診できる」ことを周知徹底するよう求めています。

◆「カードリーダー」の設置は義務ではありません

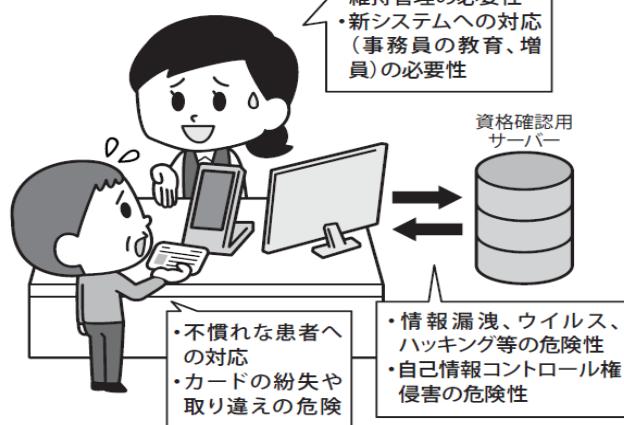
追加的な導入支援策（医科・歯科診療所は導入費用42.9万円を上限に補助）の期限は今月末ですが、その後も4分の3は補助されます。運用開始を前にして、システム改修などを行う業者（ベンダー）から補助額を大幅に上回る高額な見積もりを提示されるなどの事態も起きています。

2023年3月末までに設置すれば、補助金の対象となります。しばらく状況を見てから設置の検討をしても遅くはありません。

◆「オンライン資格確認」も義務ではありません

これまで通り目視での保険証の確認を月1回行っていれば、資格喪失などの場合でも医療機関に不利益は生じません。「カードリーダー」設置の医療機関でも、保険証の期限切れなどで、オンラインでの資格確認が必要と判断した時に、実行すれば全く問題はありません。

考えられる問題点



～ 医科歯科オンライン講習会（Web 配信限定）のご案内 ～

保険医協会では3/19（金）19時30分から「医療現場におけるマイナンバーカードの問題点」と題したWeb講習会を開催します。制度の問題点や窓口で懸念される様々なトラブル等について、保団連の担当理事が解説します。貴重な機会ですので、ぜひご視聴ください（既にお届けしております案内チラシをご利用の上、お申し込みください）。

裏面にも解説記事あり

マイナンバーカードによる受診に伴う懸念点、問題点

①職員が多忙化する恐れ

- ・窓口でマイナンバーカードと保険証での受診が混在する。3月時点では、公費負担・地域単独事業などは各受給者証の確認が別途必要。患者の動線が分かれ、資格確認の業務フローが複雑に。
- ・カードリーダーに不慣れな高齢者や身体が不自由な人などには手助けが必要に。
- ・顔認証が上手くいかない場合、患者は暗証番号を打ち込むか、職員が写真を目視で確認する（職員はカードリーダーを目視モードに切り替え）など、手間が増える。
- ・暗証番号での認証は3回間違えるとロックされる（解除は役場窓口でのみ可能）。



②患者トラブル懸念

- ・マイナンバーの秘匿性に鑑みて、職員が手助けを断った場合、患者とトラブルになる可能性。
- ・手助けした際に、患者にカードを返却したかどうかなどのトラブルになる可能性。
- ・医療機関内においてカード紛失、盗難騒ぎやマイナンバー漏えいなどリスクが格段に高まる。

③政策の費用対効果に疑問

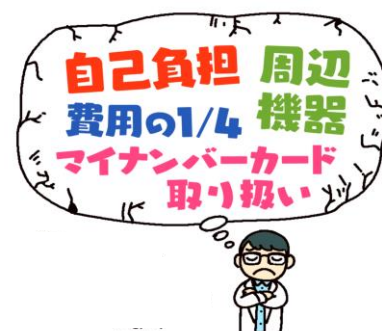
- ・資格無しなどで返戻されるレセプトは年間に全請求件数の0.27%。
- ・電子媒体で請求している場合、オンライン資格確認の対応の有無に関わらず、資格喪失の返戻が減るサービス(10月開始)は利用できる。
- ・薬剤・特定健診等で閲覧できる情報は、レセプト抽出より最大1ヵ月半の遅れ。

④個別指導で指摘を受ける可能性

- ・療養担当規則に、マイナンバーカードによる資格確認を「電子資格確認」として規定。
⇒ 個別指導に際して、システム整備・運用状況などに関して指導を受ける可能性。薬剤・健診情報を閲覧する場合、電子カルテの運用管理に係るチェックが厳しくなる懸念。

⑤職員のICTスキルが必要に

- ・システムトラブル等でマイナンバーカードでの受診ができない場合、原因がカードリーダー、ネット回線の接続、資格確認の管理先（基金・国保）など、速やかな原因の判明と復旧のための対応が必要。
- ・オンライン資格確認やオンライン請求に係る安全対策の実施も必要。



⑥コロナ禍で巨費を投じて促進する問題

- ・マイナンバーカードの保険証利用の体制整備に向けて1,000億円以上の巨額の税金を投じることは問題。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、深刻な経営難にある医療機関への支援にこそ充てるべき。

